家路（1943）

LASSIE COME HOME

メディア 映画
ジャンル ファミリー　アドベンチャー
製作国 アメリカ
時間 88分
初公開日 1951/02/10
公開情報 セントラル

【解説】

誰でも名前は知っている“ラッシー”の映画版第１作（原作エリック・ナイト）。ヨークシャーのカラクルー家は貧困から、利口な飼い犬ラッシーを侯爵家に売ることになってしまった。ラッシーとは飼い主以上の関係だった少年はひどく落胆するが、それを知ってかラッシーは度々侯爵の屋敷を抜け出してしまう。怒った侯爵はラッシーをスコットランドの別荘に連れていき調教させようとするが、やはりラッシーはそこも脱走。だが、今度ばかりはラッシーの道のりは遠く苛酷なものだった……。こうして、まさしくタイトルの「家路」が示すように、ラッシーのカラクルー家までの数々の冒険が繰り広げられるのだが、その活躍ぶりが最大のお楽しみ。犬好きならずとも、肩の力を抜いて見られる娯楽編になっている。ラッシーの良き友、カラクルー家の少年に扮するのはＲ・マクドウォール。若い人には「猿の惑星」の、と言った方がいいかもしれないが、この人、元々名子役だったのだ。対する侯爵家の娘には若き日の（本当に若いよ）Ｅ・テイラー。人間側のドラマもソツなく展開されています。

【クレジット】

監督	フレッド・Ｍ・ウィルコックス	Fred M. Wilcox	
製作	サミュエル・マークス	Samuel Marx	
原作	エリック・ナイト	Eric Knight	
脚本	ヒューゴ・バトラー	Hugo Butler	
撮影	レナード・スミス	Leonard Smith	
編集	ベン・ルイス	Ben Lewis	
音楽	ダニエル・アンフィシアトロフ	Daniele Amfitheatrof	
出演	ロディ・マクドウォール	Roddy McDowall	ジョー・カラクルー
	エリザベス・テイラー	Elizabeth Taylor	プリシラ
	ドナルド・クリスプ	Donald Crisp	サム・カラクルー
	デイム・メイ・ウィッティ	Dame May Whitty	ドーリー
	エドマンド・グウェン	Edmund Gwenn	ロウリー
	ナイジェル・ブルース	Nigel Bruce	ラドリング
	エルザ・ランチェスター	Elsa Lanchester	カラクルー夫人
	ベン・ウェブスター	Ben Webster	
	Ｊ・パット・オマリー	J. Pat O'Malley	
	アラン・ネイピア	Alan Napier	
	アーサー・シールズ	Arthur Shields	
	アレック・クレイグ	Alec Craig	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.